



「『変革 2027 の実現に向けた組織の再編について』に関する 説明申し入れ（その2）」団体交渉を行う！④

11. 工務職場において、以下の点について明らかにすること。

会
社
回
答
の
特
徴

- ①各設備技術センターにおける安全管理の考え方について明らかにすること。
 - 安全を確保していく価値観は変わるものではない。安全は経営のトッププライオリティである。
 - 安全指導をしっかりと行い、安全を管理していく価値観は一致している。
- ②「線区別のライン管理」と「現場主導のワンストップ」を行う理由と内容を明らかにすること。
 - 「線区別のライン管理」について
設備：エリアごとに配置して管理している。電気：拠点をエリアごとにおいて管理している。
 - 「現場主導のワンストップ」について
設備：支社と現場の融合によって現場に近い立場で業務ができる。
電気：企画はプランニング業務であり、PDCAのPが近くにあった方がスピーディーに進む。
- ③「人事運用と育成出向」の考え方について明らかにすること。
 - 技術力を高める、専門技術を身に付けるために、従来通りバランスを見ながら行っていく。
- ④各系統のプロづくりをどのように行うのか明らかにすること。
 - 7年育成プランについては組織が見直されることで大きく考え方は変わらない。
- ⑤各設備技術センターが兼務する機関について明らかにすること。
 - 支社では、主幹課と指令業務の兼務をしている方がいる。支社と技セが融合されるので、兼務はあると考える。
- ⑥保線設備技術センターを独立配置する支社と統合配置する支社を明らかにすること。
 - 設備管理規模や予算規模等を総合的に勘案し、検討していく。
- ⑦電気部門での代表メンテナンスセンターの考え方に変更があるのか明らかにすること。
 - 各支社での判断になる。
- ⑧事務で働く組合員の働き方について明らかにすること。
 - 組織全体の再編であり、今回を機に抜本的に変わるものではなく、継続的に変わっていくもの。事務職の方が、技術職よりテレワークなど馴染みやすいと考える。

15. 地方の労使協議として検討している内容を明らかにすること。

- 会社回答の特徴** ●本部・本社で議論して、地方で議論していくやり方を変えるものではない。
- 企画業務は現場の業務とは趣の異なるもの。イメージが湧かないという指摘は受け止める。1月末には補足資料も出してきた。趣旨や目的は繰り返し述べてきた。地方議論もスケジュール感を持って進めていくものである。

**安全・安定輸送と、安心して働ける職場環境をつくり出していこう！！
基本要求进行提出して議論していきます！**